



26th

ハウステンボスマリーナカップヨットレース

HUIS TEN BOSCH MARINA CUP YACHT RACE

2019

帆走指示書

- 共同主催** 株式会社ユニマットプレシャス、ハウステンボスヨットクラブ、長崎県外洋帆走協会
- 協 賛** 有限会社アイ・ティー・オーヨットセールズ (50音順)
- 医療法人光省会 福田外科病院
- 医療法人福田ゆたか外科医院
- 株式会社ウォーターマークホテル長崎
- 梅ヶ枝酒造株式会社
- 有限会社オーケー薬局
- 株式会社舵社
- 株式会社カズ・マリンプロダクツ
- 株式会社カワハラネオン広告
- 有限会社タートルマリン
- 有限会社トライ食品
- 長崎浪漫工房
- 株式会社ノースセイル・ジャパン
- ハウステンボス株式会社
- ファーストマリーナ株式会社
- 株式会社フォーチュン
- プランニング・シンカ
- ヘリオス酒造株式会社
- ホテルオークラ JR ハウステンボス
- 株式会社マリネックス
- 山口正右衛門窯
- ヤンマー船用システム株式会社
- ユニマットマリン
- 株式会社ユニマットライフ
- 株式会社ワキノファクトリー
- 運 営** ハウステンボスマリーナカップヨットレース大会委員会

1. 適用規則

本レースは、セーリング競技規則 2017-2020（以下「RRS」という。）、日本セーリング連盟規定本大会レース公示及びこの帆走指示書を適用する。なお、尚、レース公示と帆走指示書の間に矛盾が生じた場合は本帆走指示書を優先する。

2. レーティングについて

本レースに参加する艇のレーティングは長崎県外洋帆走協会 PHRF で行い、レーティングについては艇からの救済要求および抗議の対象とはならない。

3. 競技参加者への通告

競技参加者への通告は、陸上本部前に設置された公式掲示板に掲示される。

4. 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、レース当日の 7 時 30 分までに公式掲示板に掲示される。

レース海面で帆走指示書の変更を行う場合は、本部船に L 旗を掲げ、ホワイトボードで内容を変更する。

L 旗



5. 日程

9月14日（土）	17：30艇長会議
	18：00出艇申告締切
	18：30ウエルカムパーティー（前夜祭）
15日（日）	09：25ハウステンボスマリーナカップ・スタート予告信号
	15：00タイムリミット
	17：30ヨットレースパーティー・表彰式開場 18：00スタート

6. 出艇申告

競技参加艇は、レース前日（9月14日）18時までにレース委員会に所定の書面にて出艇申告をしなければならない。出艇申告の乗員の変更はレースのスタート以前に陸上本部に申告すること。出艇申告がない場合及び正しくない出艇申告は失格の対象とする。参加艇は有効な船舶検査証を所持していなければならない。

7. 競技参加艇のクラス分け

7-1. クラス分けは下記のとおりとする。

クラス	リボン・グループ旗の色
A	黄緑色（ミント）
B	青色
C	茶色

7-2. 競技参加艇の各クラス分けは艇長会議において示す。

7-3. 競技参加艇は艇長会議で受け取った「クラス別リボン」をレース中は艇のバックステー等の視認しやすい箇所に取り付けること。

8. ゼッケン

競技参加艇は艇長会議で受け取った「ゼッケン」をレース中は艇バウ側左右のライフラインに取り付け、レース委員会が競技参加艇を特定できるようにすること。

9. 陸上で発する信号

7-1. 陸上で発する信号は、陸上本部前のポールに掲揚する。

7-2. AP旗が音響信号2声とともに掲揚されたときは、「レースは延期された。予告信号はAP旗降下（降下の際は音響信号1声）60分以降に発する。（艇はこの信号が発するまでハーバーを離れないことが求められている）」



10. レースコース

別図に示すコースとする。

11. 大会旗および本部艇・運営艇

大会旗は次のとおりとする。

海上本部艇：白旗を掲揚した艇

その他の運営艇：白旗を掲揚した艇

12. マーク

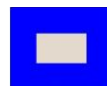
第1マーク・第2マークは、オレンジ色の三角ブイとする。

13. スタート

13-1. スタートはRRS26を適用する。信号は海上本部艇で掲揚する。

- ・ 予告信号 スタート5分前に、白色ハウステンボスマリーナ旗の掲揚及び音響1声
- ・ 準備信号 スタート4分前に、P旗(またはI旗)の掲揚及び音響信号1声
- ・ 1分前信号 スタート1分前に、P旗(またはI旗)の降下及び長音1声
- ・ スタート信号 白色ハウステンボスマリーナ旗の降下及び音響信号1声

P 旗



13-2. スタートラインは、海上本部艇のオレンジ旗を掲揚したポールとポートの端にあるリミットマーク（黄色ブイ）の間とする。

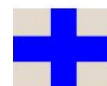
13-3. 全クラスの予告信号は9：25とする。

14. リコール

リコール艇があった場合は、スタート信号の直後にX旗を揚げ音響信号1声を発する。

X旗は全てのリコール艇がリコールを解消した場合に降下する。リコールを解消しない艇があってもスタート信号の4分後には降下する。リコール艇への通告は行わない。リコールを解消しなかった艇に対しては失格とする。

X 旗



15. ゼネラルリコール

ゼネラルリコールの場合は、第1代表旗を揚げ音響信号2声を発します。ゼネラルリコール後の新たな予告信号は第1代表旗の降下1分後に13-1により発します。

第1代表旗



16. コースの短縮

レース委員会は、RRS32に規定された理由により、コースの短縮をすることができる。

コースを短縮する場合は、海上本部艇にS旗を揚げ、音響信号2声を発する。この場合、近くのマークとS旗を掲げた海上本部艇のオレンジ旗を掲揚したポールの間で、海上本部艇をポートサイド（左舷側）にみてフィニッシュすること。

S 旗



17. フィニッシュ

コースのフィニッシュラインは、海上本部艇のオレンジ旗を掲揚したポールとリミットマークとの間とする。このとき海上本部船をポートサイド（左舷側）にみてフィニッシュすること。

18. 規則違反に対するペナルティー方式

RRS31（マークとの接触）または44.1（第2章の規則違反）に基づき、それぞれ1回のタックと1回のジャイブまたは2回のタックと2回のジャイブのペナルティーを課す。

この場合ペナルティーを履行した艇は、26.（抗議と救済の要求）に示す抗議締切時間内に陸上本部に報告書を提出しなければならない。

19. エンジンの使用

- 19-1. 競技参加艇はレース中に動力としてのエンジンの使用は認められない。
19-2. レース中とはスタート4分前の準備信号からフィニッシュをするまでをいう。
19-3. ただし、競技参加艇は落水者救助、遭難船舶救助、他の船舶との衝突回避（緊急避難）離礁、その他緊急かつ切迫した事態に対処するためにエンジンを使用することはできる。

20. タイムリミット

タイムリミットは、15:00とする。
タイムリミットまでにフィニッシュしなかった艇は、「フィニッシュしなかった(DNF)」と記録される。この項は、RRS35を変更している。

21. 帰着申告・リタイヤ

帰着申告は、ゼッケンの返納をもってこれに代える。17:00までに帰着申告（ゼッケンの返納）が無い艇は失格とする。リタイヤする艇は、何らかの方法で陸上または海上本部に連絡すると共に必ずゼッケンを外して帰港し、帰港後に返納するものとする。

22. レースの成立

本レースは、各クラストップ艇のフィニッシュをもって成立とする。

23. レースの延期

レースを延期する場合は、海上本部艇にAP旗を掲揚するとともに音響信号2声を発する。延期されたスタートの予告信号は、AP旗降下1分後に発する。AP旗降下時には、音響信号1声を発する。

AP 旗



24. レースの中止

レース委員会の裁量によりレースを中止する場合は、陸上本部又は海上本部艇にN旗を掲揚するとともに、音響信号を断続的に発する。中止されたレースの再スタートについては、レース委員会の決定を公式掲示板に掲示するものとする。

N 旗



25. レース中止基準

開催当日風速15m以上または波高2m以上または視程1000m未満の場合および落雷（荒天）等の理由により大会委員会が危険と判断した場合にはレースを中止または延期する。

26. 抗議と救済の要求

抗議は、陸上本部で交付する抗議書に記入のうえ、自艇フィニッシュ後60分以内に陸上本部に提出しなければならない。ただし、レース委員会及びプロテスト委員会による抗議、救済の要求はレース終了後60分以内とする。

27. 順位の決定および成績算出方法

- 27-1. 全体の順位およびA・B・Cクラス別に順位を決定する。
27-2. 長崎県外洋帆走協会レーティング(PHRF)による修正時間により成績を算出する。
27-3. 修正時間が同一の場合はTCF値の小さい艇を上位とする。
27-4. 長崎県外洋帆走協会レーティング(PHRF)について競技参加艇からの救済要求および抗議の対象とはならない。

28. 表彰

レース後の表彰式において、27.（順位の決定および成績算出方法）に示した全体の順位および3クラスの中から下記に賞を与える。

- ・各クラス1位～3位
- ・参加艇全体のファーストホーム
- ・総合優勝（ハウステンボスマリーナカップ）
- ・遠来賞 他

29. 参加艇の責任

- 29-1. 参加艇とその乗組員の安全に関する全ての責任は各艇にあるものとする。
- 29-2. 本大会の主催者、及び共同主催者、並びに後援団体、協賛団体、協力団体は、参加者によって引き起こされた第三者に対するいかなる損失、障害、死亡事故及び、参加艇や乗組員の事故（死亡、傷害、沈没、破損等）および第三者に与えた損害については一切の責任を負わない
- 29-3. 参加者は主催者が何も出来なかったと言う理由でその責任について追求できない。
- 29-4. 艇がスタートするか否かまたレースを続行するか否かの判断の責任は艇長にある
- 29-5. 艇と乗員の安全確保は各艇が行い、乗員も安全確保に努めなければならない。
- 29-6. Y旗の掲揚の有無にかかわらず、レース中に参加者全員が法律で認められた個人用浮力体を着用すること。

Y 旗



30. 肖像権

本大会に関係する参加者、参加者の装備に関する動画、スチール写真および撮影された映像またはその製版については参加者が対価を求めることなく、雑誌掲載や配布印刷物への掲載等の主催者の独自の判断で使用する権利を与えるものとする。

31. 特別注意事項

- 31-1. 競技参加艇以外のすべての船舶の航行に支障をきたさないよう十分注意すること
- 31-2. 漁労船は網を後方に曳いていることがあるので十分距離を取って通過すること
- 31-3. 長崎空港とハウステンボスを結ぶ定期船の運航時刻表を下記記載します。



長崎空港	方向	ハウステンボス	方向	長崎空港
9:30	→	10:20		
		10:50	→	11:40
10:40	→	11:30		
		12:00	→	11:50
12:30	→	13:20		
		13:40	→	14:30
13:30	→	14:20		
		15:10	→	16:00
15:30	→	16:20		
		16:50	→	17:40

- 31-4. ハウステンボスハーバーから無人島を結ぶ船舶「モササウルス」の運航予定時刻表を下記に記載します。



ハウステンボスハーバー	
発	着
9:30	12:50
11:20	14:50
13:20	16:30

32. 本部連絡先

大会委員会事務局（ハウステンボスマリーナ内）： **TEL0956-27-0258** Fax0956-27-0968